



Vol. 201

2026. 2-3



## 今号の内容

- 01 令和7年度 第14旅団音楽まつり
- 02 人事異動
- 03 各部隊投稿
- 04 林野火災に伴う災害派遣活動
- 05 隊員家族投稿 (第14特殊武器防護隊)
- 06 キーパーソン (第14通信隊)



# PUZZLE

～響き合うかけら～

## 第1章 出発のピース

第14旅団、20年の歩みには  
たくさんの隊員が築き上げてきた力強さがある。



土佐50連龍馬太鼓

善通寺十五聯太鼓

## 第2章 未来のピース

# PUZZLE

～響き合うかけら～

次世代の力、地域との連携は現在だけではなく  
これからの明るい未来にとっても大切なこと。



高松中央高等学校  
吹奏楽部



### 第3章 友情のピース

# PUZZLE

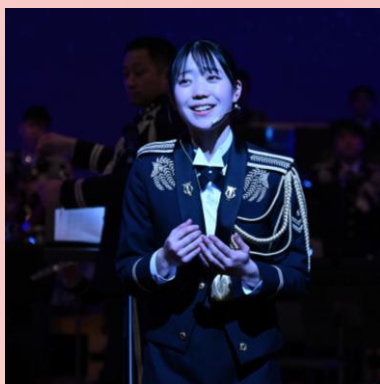
～響き合うかけら～

紡ぎ続ける想い、あの人の笑顔、次の季節へ花は咲く。  
誰かの未来を思いながら。



元陸上自衛隊中央音楽隊 女性歌手 松永美智子さん

01 令和7年度 第14旅団音楽まつり



### 第4章 平和のピース

# PUZZLE

～響き合うかけら～

心の中にある平和への願い  
次の時代へと繋ぎたい明日への希望



## PUZZLE

～響き合うかけら～



第14旅団は、2月20日（金）21日（土）の2日間、香川県高松市のレクザムホールにおいて、第14音楽隊（隊長 平林誠 1等陸尉）による「令和7年度 第14旅団音楽まつり」を開催しました。

今回のテーマは「PUZZLE ～響き合うかけら～」創隊20周年という大きな節目を迎える第14旅団が、今日まで地域の皆様と共に築き上げてきた幾多の軌跡（ピース）を、音楽を通じて一つに繋ぎ合わせ、開場の皆様にお届けしました。

本公演では、スペシャルゲストとして、元陸上自衛隊中央音楽隊の歌手・松永美智子氏、そして地元・香川県の高松中央高等学校の皆さんを迎えました。松永氏の透き通るような美しい歌声と、高校生の若さ溢れるエネルギッシュなパフォーマンスが第14音楽隊の演奏と見事に響き合い、自衛隊ならではの力強い吹奏楽から、ゲストとの心温まるコラボレーションまで多岐にわたり、来場者の皆様に魅了し、テーマにふさわしい多種多彩なステージが展開されました。

創隊20周年という記念すべき年に開催された本音楽まつりは、1576名の来場者から好評を博し、盛況のうちに幕を閉じました。第14音楽隊は、これからも地域の皆様との絆を大切に、歩みを進めてまいります。今後の演奏活動にも是非ご期待ください。

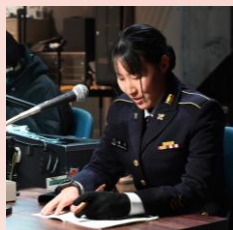
5つのピースが揃うとき、  
新境地へと花ひらく。



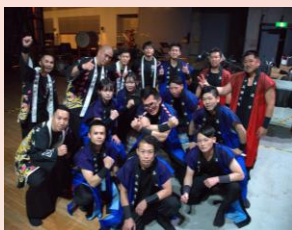
【司会】

【舞台支援班】

【旗衛隊】



【舞台裏オフショット📷】



# 第12代副旅団長 大山修 1等陸佐 着任

## 善通寺駐屯地司令 要望事項

### 「信頼される駐屯地 —すべて前向きに—」



3月16日付で大山修 1等陸佐が中部方面總監部（伊丹）から第12代副旅団長に着任しました。大山1佐は、栃木県出身。職種は野戦特科で、第6特科連隊、第7特科連隊第1大隊長、第12特科隊長、中部方面總監部防衛部長等を歴任しています。着任にあたり、大山1佐は善通寺駐屯地所在隊員に対する要望事項として、「信頼される駐屯地 —すべて前向きに—」を掲げました。

## 岡前副旅団長 離任

### システム通信サイバー学校へ

第11代副旅団長 岡一博 1等陸佐の転出行事が3月12日、善通寺駐屯地で行われました。岡1佐は、令和5年8月に着任し善通寺駐屯地所属隊員に対し「誇りと信頼」を要望事項に約2年半勤務しました。転出行事の後、駐屯地所在部隊に見送られ、3月16日付でシステム通信サイバー学校（久里浜）へ赴任しました。



## お世話になりました！

- ジグザグ**
- 第14旅団司令部 火力調整部長
  - 1等陸佐 田久保智（防衛装備庁へ）
  - 第50普通科連隊長
  - 1等陸佐 水関謙作（統合作戦司令部へ）
  - 第14旅団司令部 会計課長
  - 3等陸佐 佐藤廣紀（陸上幕僚監部へ）
  - 第14情報隊長
  - 2等陸佐 濱田安彦（陸上総隊司令部へ）
  - 第14施設隊長 兼ねて徳島駐屯地司令及び
  - 第14旅団司令部 施設課長
  - 2等陸佐 山北幸太郎（陸上幕僚監部へ）
  - 第14通信隊長 兼ねて第14旅団司令部 通信課長
  - 2等陸佐 脇田祐一朗（教育訓練教育本部へ）
  - 第14旅団司令部 火力調整部長
  - 2等陸佐 中辻智（第5地对艦ミサイル連隊から）
  - 第50普通科連隊長 兼ねて高知駐屯地司令
  - 1等陸佐 小野康晴（東北方面總監部から）
  - 第14旅団司令部 会計課長
  - 3等陸佐 西村俊宏（小平学校から）
  - 第14情報隊長
  - 2等陸佐 細田洋志（情報学校から）
  - 第14施設隊長 兼ねて徳島駐屯地司令及び
  - 第14旅団司令部 施設課長
  - 2等陸佐 酒井俊一（陸上幕僚監部から）
  - 第14通信隊長 兼ねて第14旅団司令部 通信課長
  - 2等陸佐 岡部師也（陸上幕僚監部から）

ようこそ第14旅団へ！

## 初弾必中 野営訓練

**第14偵察隊**（隊長 神品秀雄 2等陸佐）は、1月下旬、令和7年度偵察隊第2次隊野営訓練を実施し84mm無反動砲とMINIMIの射撃を行いました。4日間と短い期間でしたが、得たものは大きく、隊員をさらに成長させる訓練になりました。

84mm無反動砲の射撃は、万全の準備を行い臨んだ1発目は、きれいな一直線を描き、標的に吸い込まれていくように命中して、初弾必中の精神を体現するとともに、無事に終了しました。



84mm無反動砲の射撃



84mm無反動砲の弾込め



MINIMI（伏せ撃ち）

MINIMIの射撃は、今年度入隊し、1月から陸士特技課程「偵察」の教育に参加している新隊員と合同で実施しました。若い隊員が多く参加したこともあり、訓練地域には射撃音に負けないほどのやる気に満ちた大きな掛け声が響き、先輩隊員からの熱意と愛情ある指導のもと、活気ある訓練となりました。



車載したMINIMIによる射撃

## 対空戦闘力の結集 小隊訓練検閲

**第14高射特科隊**（隊長 岩月賢二 2等陸佐）は、2月下旬、青野ヶ原演習場（兵庫県）において令和7年度小隊訓練検閲を実施しました。

本訓練は、小隊長の指揮能力、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作について評価・判定し、部隊全体の進歩向上につなげるため、短距離地对空誘導弾（短SAM）を装備する第14高射特科隊と第15即応機動連隊本部管理中隊が合同で練成訓練を実施し、高射特科隊の運用において、さらなる実効性の向上を図りました。

特に、作戦の終始を通じ、任務を完遂するために適した陣地の選定及び対空情報の収集を行い、状況に応じて対空火力を発揮するなど、任務の完遂に努めました。

第14高射特科隊は、本訓練で得た教訓を生かし、更なる練度の向上を目指します。



射撃準備（近SAM）



監視準備

## スキャンイーグルの守護神たち 戦闘射撃訓練

**第14情報隊**（隊長 濱田安彦 2等陸佐（当時））は、高知覆道射場において、部隊の要であるスキャンイーグル（無人偵察機）を様々な環境下において防護するため、戦闘射撃訓練を実施しました。射手として参加した隊員は、現れた標的に対し素早く状況を判断し、適確な指示のもと対処することができました。

また、夜間を想定した訓練も実施し、個人用暗視装置（暗視ゴーグル）を装着した状態での射撃訓練を実施しました。いかなる環境下でも冷静に対処する姿はまるでスキャンイーグルの守護神のようでした。

今後も、全隊員が様々な環境下で戦闘射撃能力を発揮できるよう、日々訓練を積み重ねると共に、着実な練度向上を図ってまいります。



暗視ゴーグルを装着した射撃



戦闘射撃訓練の様子

## 競い高め合う 戦闘射撃・射撃競技会

**第14後方支援隊**（隊長 渡邊修 1等陸佐）は、2月中旬、高知覆道射場において「戦闘射撃練成及び後方支援隊射撃競技会」を実施しました。

実戦を想定した戦闘射撃の練成を通じて、隊員一人ひとりの射撃能力の向上を図るとともに、部隊全体の練度向上を目的として実施しました。また、競技会形式で実施することにより、隊員同士が切磋琢磨しながら技術を高め合う機会となりました。

訓練及び競技会に参加した隊員たちは、日頃の訓練で培った技術を発揮し、真剣な表情で射撃競技会に臨んでいました。

今回の戦闘射撃練成及び競技会を通じて、隊員の射撃能力の向上を図るとともに、射撃に対する隊員一人ひとりの意識を高めることができました。

今後も継続した訓練を通じて、隊員の射撃能力だけでなく、部隊全体の練度向上に努めてまいります。



射撃競技会（拳銃）



戦闘射撃練成



戦闘射撃練成



射撃競技会（小火器）

## 実任務を想定して 戦闘射撃

**第14旅団司令部付隊**（隊長 玉置徳和 3等陸佐）は、2月下旬、戦闘射撃の集中訓練を実施しました。

司令部付隊は、旅団司令部を支える多種多様な任務を担っており、司令部の指揮機能を支援する傍ら、戦闘射撃に向けて射撃シミュレーターを活用した射撃予習等の訓練を積み重ね、厳正な安全管理のもと、高知覆道射場での訓練に臨みました。

戦闘射撃とは、戦闘行動と射撃を組み合わせた、より実戦的かつ応用的な射撃訓練です。基本射撃とは異なり、実任務に近い状況で射撃を行うことで、隊員の練度向上を図ることができました。今後も本訓練の成果を活かし、更なる練度向上に努めてまいります。



射撃予習（シミュレーター訓練）



戦闘射撃（高知射撃場）

## 一撃に込めた集大成 総合戦闘射撃

**第50普通科連隊**（隊長 水関謙作 1等陸佐（当時））は、2月下旬、あいば野演習場（滋賀県）において旅団が計画する総合戦闘射撃に合わせて、第6次連隊野営訓練を実施しました。

本訓練は、複数の火器と射撃を組み合わせて実施する、より実戦的な訓練です。各隊員は「敵の早期発見・迅速な報告・戦闘照準による正確な射撃」に焦点を置き『一撃必中』の信念で射撃を行いました。

戦闘射撃当日は、風が強く冷たい雨が降る悪条件の中での射撃となりましたが、令和7年度の集大成となる訓練として、参加隊員はこれまで練成してきた全ての成果をこの訓練に発揮しました。隊員一人ひとりが任務を確実に遂行し、部隊としての連携を高めながらすべての任務を完遂しました。



120mm迫撃砲装填（非実射）



5.56mm機関銃MINIMIの射撃



81mm迫撃砲装填（非実射）



中距離多目的誘導弾障地侵入

## 空から守る地域の安心 07南海レスキュー

**第14飛行隊**（隊長 斎藤翔平 2等陸佐）は、1月19日から約1週間にわたり、南海トラフ巨大地震の発生を想定した訓練「07南海レスキュー」に参加しました。本訓練は、自衛隊の部隊だけでなく医療機関、自治体、民間企業等と連携して訓練を行いました。航空機による被災者の救助・患者搬送・各医療機関への搬送要領など、実際の災害を想定した訓練を実施することで、自衛隊だけでなく各組織が一丸となって南海トラフ巨大地震等の大規模自然災害に対応していくための連携要領を確認することができました。

第14飛行隊は、今後も四国4県をはじめとする地域の安全と安心を守るため、各関係機関との連携を強化しつつ、任務遂行能力の向上に努めていきます。



航空機への患者収容の様子



航空機の離陸の様子（鳴門病院屋上ヘリポート）

## 必ず繋ぐ通信 07南海レスキュー

**第14通信隊**（隊長 脇田祐一朗 2等陸佐（当時））は、1月19日から約1週間にわたり、南海トラフ巨大地震の発生を想定した訓練「07南海レスキュー」に参加しました。本訓練では、高知県庁や四国内の各通信所適地に通信所を展開して、今後起こりうる南海トラフ地震発生を想定したシステム通信組織を構成しました。

併せて、善通寺駐屯地において通信事業者等と災害協定に基づいた連携要領を確認し、災害発生時に事業者より提供を受ける通信器材・通信回線等について相互の認識を合わせました。また、応急復旧器材を迅速に被災地へ運搬することを想定した、UH-1Jへの器材の積載・卸下の訓練を実施し、関係機関との連携を強化しました。

第14通信隊は、あらゆる事態にも対処できるよう、常に準備を万全にしております。



高知県庁における通信所の開設



通信事業者等との連携訓練

## 探求心が成長のカギ 中級施設機械操作教育

**第14施設隊**（隊長 山北幸太郎 2等陸佐（当時））は、1月20日から3月6日までの間、徳島駐屯地及び松山駐屯地において、中級施設機械操作教育を実施しました。

基礎訓練では、自衛隊が保有している施設機械（油圧ショベル・バケットローダ等）の基本的な操縦要領、性能等について学び、施設機械操作手として必要な知識・技術を身に付けました。また、夜間訓練では暗闇の中、操縦練成を実施し、より高度な操縦技術を磨きました。限られた教育期間の中、参加隊員たちは「少しでも上達したい」という探究心を大切にひとつひとつの教育に真剣に取り組みました。

中級施設機械操作教育を修了した隊員たちは、それぞれの部隊に復帰後、実任務で即戦力となる施設機械操作手として活躍できるよう、日々精進を続けていきます。



学科試験



安全教育



実技練成



実技試験

## C B R N 対処の連携 令和7年度香川県消防学校支援

**第14特殊武器防護隊**（隊長 松田秀司 3等陸佐）は、3月、香川県消防職員に対し、テロ及び原子力災害におけるC B R N（C化学・B生物・R放射性物質・N核）対処について教育支援を実施しました。

教育は、講義、自衛隊・消防の保有する化学器材の比較及びテロ対処及び原子力災害対処における偵察・除染訓練を普及しました。

消防の被教育者からは、「原子力災害での除染要領が参考になった。」「災害対処訓練にぜひとも参加したい。」等の意見が多数得られました。

今後も特殊災害等が発生した際に、『オール四国』で迅速に対処すべく、引き続き消防との連携を強めていきます。



講義



装備品展示（検知器材）



訓練展示（偵察要領）



訓練展示（除染要領）

## 相互の連携 連隊競技会

**第15即応機動連隊**（連隊長 柿内慎治 1等陸佐）は、3月6日（金）、善通寺駐屯地において、「連隊競技会」を実施しました。本競技会は戦闘能力の向上と、部隊の団結の強化及び士気の高揚を目的として行われ、競技の開始に先立ち、柿内連隊長は「各人の役割の完遂」「相互の連携」の2点を要望しました。競技は「機動の部」「炊事の部」「通信の部」の3種目が行われ、各中隊等の隊員がそれぞれの特技を競い合いました。



### 「機動の部」

各中隊等の隊員たちのグラウンド2周の平均タイムを競います。各隊員は日頃の鍛錬の成果を思う存分発揮し、死力を尽くして走り抜きました！

### 「通信の部」有線競技

自衛隊で使っている様々な通信機器を迅速につなぐ有線競技と、無線機を使い情報をどれだけ正確に伝達できるかを競う無線競技が行われました。自衛隊員の特殊技能が光る専門性の高い勝負となり、静かながらも気迫の伝わる戦いでした！

各競技においてしのぎを削る隊員たちは、それぞれが己の技術と鍛え上げた身体を存分に発揮するとともに、各中隊の団結力を競い合い、連隊長要望事項を見事に体現して見せました。

「炊事の部」では各中隊等がそれぞれカツカレーとサラダを作り、安全・衛生管理、盛り付け及び味を評価しました。料理に使う食材、調味料、カレーのルウには様々な種類があり、その中から選んで調理したこともあり、各中隊等のバラエティー豊かなカレーとサラダで試食会は大いに盛り上がりました！



「炊事の部」調理



「炊事の部」盛り付け評価



「炊事の部」試食会

3種目の合計得点を合わせた結果、見事優勝を果たしたのは第3普通科中隊（中隊長 富田3佐）でした。本競技会を通じ、競技に参加する選手はもとより、それをサポートする隊員及び競技会の統裁を支える隊員を含めて連隊全体が一丸となり、団結の強化及び士気の高揚を図ることができました！



第3普通科中隊 優勝！

## 林野火災に伴う災害派遣活動

第14旅団（旅団長 仲西勝典 陸将補）は、林野火災に伴い2度にわたる災害派遣活動を実施しました。乾燥した気象状況の中、関係機関と緊密に連携して昼夜を問わず活動を継続し、地域住民の安全確保に全力を尽くしました。引き続き、各種災害に迅速かつ的確に対応できる態勢を維持してまいります。

### 徳島県那賀町 林野火災（2月17日～18日）



飛行準備



飛行前の点検



CH-47による空中消火

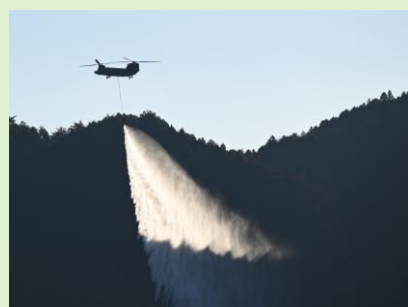
### 徳島県神山町 林野火災（2月21日～22日）



活動記録の撮影



町役場の職員との調整



CH-47による空中消火

## 第14旅団 PHOTO OF THE YEAR

陸自写真コンテスト（フォト・オブ・ザ・イヤー）に応募した写真の中で魅力的な1枚を撮影した隊員に対し表彰を行いました。来年度はノミネートを目指すとともに、引き続き撮影技術を向上させ、第14旅団さらには陸上自衛隊の活躍を発信していきます。

### 旅団長賞



「仲間のために」

第14後方支援隊 大嶋 3曹

### 副旅団長賞



「ループホール」

第15即応機動連隊 小田 3曹

### 幕僚長賞



「議」

第14旅団司令部付隊 新谷 3曹



令和7年度陸自動画コンテスト（ムービー・オブ・ザ・イヤー）で惜しくも選考からは外れましたが、第14旅団“陸上自衛隊 強さの裏側”の作品「My Rock～強さの裏側～」も是非ご覧ください！

第14旅団公式Youtubeはこちら



## 我が家の要、大黒柱

第14特殊武器防護隊 古味孝幸

我が家の大黒柱である夫は平成二年に自衛隊に入隊し、36年間の自衛隊生活一筋の道を歩んできました。加齢に伴う体の変化や高めの血圧を気にしつつも、おかげさまで大きな病気もなく健康に過ごしてきました。

36年間の勤務で特に印象深いのは、令和5年8月から2年間旭川駐屯地での単身赴任生活でした。四国香川県から北海道旭川への遠距離の赴任となり、当初は環境の変化により不安等ありましたが、北海道の自然や文化に触れるとともに、赴任先の部隊の方々にも良くして頂き、公私共に充実していたようです。私自身も休みを活用して旭川に赴き、主人と北海道観光をして貴重な時間を過ごすことができました。

その一方で、赴任中に15年余り家族の一員として過ごした愛犬ゆずが亡くなり辛い経験もしましたが、周囲の方々の支えのおかげで乗り切ることができました。

主人は来年5月には37年の勤務を終え定年を迎える予定です。これからも夫婦共々健康に気を遣いつつ、楽しく過ごしていきたいと願っております。



妻 秀美さんより



今回は、旅団の指揮統制を支える「師団等指揮システム」のサーバー維持管理を行う第14通信隊に所属する有村2曹にスポットを当てています。

## 見えない場所で戦うシステム戦士



- 部隊 ▶ 第14通信隊  
ありむら ゆうき
- 氏名 ▶ 有村 優希
- 出身 ▶ 滋賀県
- 趣味 ▶ 美味しいもの巡り・海外旅行



### 有村2曹に聞きました どんな仕事してるの？

私は、旅団の指揮統制を支える「師団等指揮システム」のサーバー維持管理を担当しています。主な仕事はサーバーの監視や不具合への対処です。決して目立つ役回りではありませんが、旅団の任務遂行には欠かせない重要なシステムです。「裏方」としての重圧もありますが、その分、部隊を支えているという強い使命感を持って日々の任務に励んでいます。

### 周りの方に聞きました 有村2曹はどんな人？

仕事はとても真面目で、困ったときにはいつも助けるととても頼れる存在です。とても通信に関する知識が豊富で私自身の身になる事を常に教えてくれたり、時には厳しく指導されることもありますが、それ故に私達は多くを学ぶことができました。

有村2曹は私にとって、とても尊敬できる先輩です。

西田 3曹

# 四国4県 イベントスケジュール

第14旅団の部隊や四国4県の地方協力本部が様々なイベントに参加し  
 装備品展示 🚚 制服試着体験 📺 音楽演奏 🎵 などを行っています！

皆様のご来場お待ちしております♪

※ 急遽変更となる場合がございます。ご了承ください。

日付	イベント名	場所	
4/3(金)	「道の駅滝宮」5周年イベント	道の駅滝宮	📺
4/4(土)	ことでん春の電車まつり	瓦町FLAG屋上	📺
4/4(土)	松山春まつり	松山城山公園	🚚
4/29(水)	キッズお仕事FES	綾川イオン	📺
5/3(日)	丸亀お城まつり	丸亀市役所周辺	📺 🎵
5/4(月)	丸亀お城まつり	丸亀市役所周辺	📺 🚚
5/9(土)	金蔵寺こどもまつり	金蔵寺	📺 🚚
5/9(土)	ヒカリグループ感謝祭	ウェルビースポーツジム	📺 🚚
5/10(日)	小松島市金長たぬきまつり	日本フラッシュたぬき広場	📺 🚚
5/24(日)	松山駐屯地記念行事	松山駐屯地	🚚 🎵

徳島県：青

高知県：赤

香川県：緑

愛媛県：オレンジ

5月30日(土)『募集広報の日』を開催し、陸上自衛隊の全16職種が善通寺駐屯地に大集結します！気になる方はお近くの地方協力本部へお問い合わせください☎





# 第14旅団創隊20周年



# 善通寺駐屯地開設76周年

# 記念行事



## 更なる挑戦

～輝く未来への継承～

# 2026 4.26 (日)

## 駐屯地一般開放

# 09:00～15:00



任務の継承



伝統の継承



関係の継承

### 行事時程

・観閲式	10:00～10:45
・音楽演奏	10:45～10:50
・グリーンインパルス(陸)	10:50～11:03
・太鼓演奏	11:03～11:10
・模擬戦闘訓練展示	11:10～11:30
・市中観閲行進	11:50～12:10
・体験搭乗・装備品展示等	12:40～15:00
・子ども広場・乃木館開放	09:00～15:00

※天候等により、行事内容を変更又は中止する場合があります。

#### 注意事項

- ・ペット及び危険物等の持ち込みは禁止しております。
- ・駐屯地ご来場の際、持ち物検査を行いますのでご了承ください。
- ・ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
- ・近隣の商業施設等への無断駐車は迷惑になりますのでご遠慮願います。
- ・天候等により、行事内容を変更又は中止する場合があります。
- ・詳しい情報についてはHPを参照してください。

<詳しい情報はHPよりご覧ください。>



14りよだん

検索



[旅団HP、公式X、YouTube、Facebook]



HP



Youtube



X



Facebook

第14旅団では、HP・X・Facebook・Youtubeにおいて活動状況を発信しています。  
また、HPにおいては第14旅団の紹介やイベント情報などを掲載しております。

14りよだん 検索

